

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和7年3月6日(2025.3.6)

【国際公開番号】WO2024/204680

【出願番号】特願2024-547022(P2024-547022)

【国際特許分類】

C 0 9 D 17/00(2006.01)

C 0 9 C 1/40(2006.01)

C 0 9 C 3/10(2006.01)

C 0 9 D 7/62(2018.01)

C 0 9 D 201/00(2006.01)

B 0 5 D 1/36(2006.01)

10

【F I】

C 0 9 D 17/00

C 0 9 C 1/40

C 0 9 C 3/10

C 0 9 D 7/62

C 0 9 D 201/00

B 0 5 D 1/36

B

20

【手続補正書】

【提出日】令和6年8月7日(2024.8.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

湿潤剤(A)、光輝性顔料(B)、ナノセルロース(C)及び水(D)を含有する光輝性顔料分散体であって、

前記光輝性顔料分散体の全成分合計100質量部に対して、固形分を0.1~10質量部含み、

前記ナノセルロース(C)は、リン酸基含有ナノセルロース(C1)と、カルボキシル基含有ナノセルロース(C2)及びスルホン酸基含有ナノセルロース(C3)から成る群から選ばれる少なくとも1種と、を含む、光輝性顔料分散体。

【請求項2】

前記光輝性顔料(B)が、アルミニウム顔料を含む、請求項1に記載の光輝性顔料分散体。

40

【請求項3】

リン酸基含有ナノセルロース(C1)がリン酸基含有セルロースナノファイバー(C11)及び/又はリン酸基含有セルロースナノクリスタル(C12)を含む、請求項1に記載の光輝性顔料分散体。

【請求項4】

前記セルロース(C)はカルボキシル基含有ナノセルロース(C2)を含み、カルボキシル基含有ナノセルロース(C2)がカルボキシル基含有セルロースナノファイバー(C21)及び/又はカルボキシル基含有セルロースナノクリスタル(C22)を含む、請求項1~3のいずれか1項に記載の光輝性顔料分散体。

【請求項5】

50

前記セルロース(C)はスルホン酸基含有ナノセルロース(C3)を含み、スルホン酸基含有ナノセルロース(C3)が、スルホン基含有セルロースナノファイバー(C31)及び/又はスルホン酸基含有セルロースナノクリスタル(C32)を含む、請求項1~3のいずれか1項に記載の光輝性顔料分散体。

【請求項6】

前記リン酸基含有ナノセルロース(C1)と、カルボキシル基含有ナノセルロース(C2)及びスルホン酸基含有ナノセルロース(C3)から成る群から選ばれる少なくとも1種との含有割合が、リン酸基含有ナノセルロース(C1)のカルボキシル基含有ナノセルロース(C2)及びスルホン酸基含有ナノセルロース(C3)から成る群から選ばれる少なくとも1種に対する質量比で、1/99~50/50の範囲内である、請求項1~3のいずれか1項に記載の光輝性顔料分散体。

10

【請求項7】

工程(1):被塗物上に、ベース塗料(X)を塗装して未硬化のベース塗膜を形成する工程、

工程(2):工程(1)で形成されるベース塗膜上に、請求項1に記載の光輝性顔料分散体(Y)を塗装して未硬化の光輝性塗膜を形成する工程、

工程(3):工程(2)で形成される光輝性塗膜上に、未硬化のクリアー塗料(Z)を塗装してクリアー塗膜を形成する工程、及び、

工程(4):工程(1)で形成された未硬化のベース塗膜、工程(2)で形成された未硬化の光輝性塗膜及び工程(3)で形成された未硬化のクリアー塗膜を同時に加熱することにより、硬化させる工程を含む、複層塗膜形成方法。

20

30

40

50